

平成29年度学校自己評価システムシート（さいたま市立浦和南高等学校）

（学校番号 s 5 1）

目指す学校像	南高生の誇り10箇条を座右の銘とし、人格の完成を目指し、豊かな情操を養い、探求心旺盛な自主自立の精神に満ちた心身共に健康な民主的社會人の育成を期する。
重点目標	1 主体的に学習できる生徒の育成と進路実績の一層の向上を図る。 2 活力と特色ある教育活動を推進する。 3 地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	概ね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標					年 度 評 価（2月1日現在）		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成	次年度への課題と改善策
1	進学重視型単位制に移行して5年目を迎えるにあたり、新教育課程を実施する。新教育課程は、年8回の土曜授業と個々のニーズに応じた選択科目を充実させた週34単位が特徴である。 教育課程を通して「進学重視型単位制の充実」「主体的・対話的で深い学びの推進」「新大学入試への対応」「進学実績の向上」をめざし、研修を充実させ授業改善を進めていく。 また、進路実現のための的確な情報提供とICT教育の充実に向け環境を整備する。	授業改善の推進による確かな学力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修指導の改善</li> <li>研究授業・教科ごとの授業研修会の実施</li> <li>進学重視型の授業展開の推進</li> <li>ICT活用環境の整備</li> <li>生徒アンケートの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>履修の手引きを改定し、個に適したきめ細かい指導を行う。</li> <li>公開授業を通して、授業改善研修会を年2回以上実施する。</li> <li>ICT学習室を整備し、学習環境を整備する。</li> <li>生徒アンケートの授業満足度の比率2/3超。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年8回の土曜授業を導入し、本校保護者及び受検生に授業公開した。</li> <li>新教育課程と共に「履修の手引き」を改定し、進路意識を高める履修指導を実施した。</li> <li>2回の公開授業教科研修会と、高大接続(外部講師)研修を実施した。</li> <li>タブレット設置ICT学習室として、進路資料室・図書室を整備中。</li> <li>満足度等アンケートは、2月中実施</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>公開が前提である土曜授業を効率的に実施する工夫が必要である。大会時期や受検生の来校等に配慮し、日程調整を行う。</li> <li>高大接続、新学習指導要領に対応できる授業改善をさらに進める。</li> <li>ICT教育を活用し、個に応じた学習を更に進められる環境をつくる。</li> </ul>
		進路希望実現に向けた計画的な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路情報の的確な伝達</li> <li>進路ガイダンスや模擬試験、英語資格試験への参加の奨励</li> <li>模試の有効活用の推進</li> <li>進路意識を引き出す行事の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT教室を活用する生徒の拡大。</li> <li>模擬試験受験者及び分析会参加生徒の増加。</li> <li>補習数と参加生徒数の増加。</li> <li>保護者対象や各年次における進路ガイダンスの計画・実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年次で英検・GTECを全員受験。英検準2級以上合格率約70%</li> <li>夢ナビライブに1,2年次生徒70%が参加。大学の学びを体験した。</li> <li>3年次の模試受験率は増加した。客観的データとして分析会(年間3回)等で進路指導に活用できた。</li> <li>朝学習が定着し、時間の有効活用、学習習慣の確立、遅刻の減少に成果をあげた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校では、英検及びGTECの1年次全員受験を実施して数年の実績があるが、新入試への対応を考慮し、更に進めていく必要がある。</li> <li>授業のほか朝学習や校外HR等も効果的な活動に改善するため、職員研修を踏まえ検討を進める。</li> </ul>
2	県内公立高校初の人工芝グラウンドが実現した。人工芝の特徴を踏まえ、危機管理対応マニュアルを整理・周知し、より効果的な授業・体育的行事について綿密に企画・計画し、実施・検証していく。 また、本校の特徴ある行事である「3つの感動体験」の更なる充実とともに、授業公開と連動した学校説明会、主権者教育や特別活動の工夫を行い、効率的な教育活動を推進する。	学校行事及び課外活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の円滑な運営</li> <li>部活動への積極的な参加の働きかけ</li> <li>指導体制、活動環境の充実</li> <li>学校行事の効率化及び精選の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な体育活動の研究・企画、人工芝特有の効果的な活用及び事故防止の留意事項をマニュアル化する。</li> <li>使用規程・事故防止マニュアルを校内に周知する。</li> <li>地域連携事業に積極的に参加し主体的に学ぶ生徒の増加。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工芝校庭での南高伝統の体育祭の継承について確認し、生徒の意見も取込みながら計画中である。</li> <li>3つの感動体験のほか、書道・吹奏楽・卓球・サッカーなど7つの部活動が地域交流事業を実施した。</li> <li>地域ボランティアに、多くの生徒が参加し、社会貢献を果たした。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の特徴である地域交流事業をさらに充実させ、生徒の多様な可能性を高めていく。地域交流事業の参加生徒数の増加やグラウンド地域開放を拡充する工夫を進めていく。</li> </ul>
		グラウンド地域開放に向けた効果的活用の研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな体育的行事の企画検討、授業改善</li> <li>人工芝事故防止策の推進とマニュアルの整理・作成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市教委と連携し、地域へ使用規程や事故対応を周知する。</li> <li>南高サポーターが増えるように開放事業を工夫し進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンド地域連携事業は、地域自治会と5月に情報交換会、10月に校庭見学会を実施のほか、地域体育団体への校庭開放を行った。</li> <li>行事等アンケートは、2月中実施。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>人工芝グラウンド初の体育祭の成功と共に、安全な地域開放事業実施のための環境整備を進める必要がある。</li> </ul>
3	グラウンドの地域開放事業、土曜授業公開を推進し、関係諸機関のニーズに耳を傾け、より地域に根差した学校づくりを進める。 また、企画委員会を中心に、校務の可視化・効率化を進める。各業務を組織的に進め、業務の継続性をさらに確保できる組織づくりを進める。	開かれた学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣小中学校、辻地区、さいたま市及び南区との連携推進</li> <li>広報活動の活性化</li> <li>地域、保護者ニーズの集約と迅速な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携事業等の活性化と連携意識の向上、共有。</li> <li>授業公開+学校説明会の実施。</li> <li>HPを活用した細やかな発信。</li> <li>メール配信を活用し家庭との連携を強化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HPを活用し、教育活動のほか緊急連絡など迅速に発信した。</li> <li>形態を工夫し、授業公開、部活動見学、個別相談、学食利用を盛り込んだ学校説明会を実施した。</li> <li>HPのトップを整理・改善中である。</li> <li>社会体験工房では新たに東洋大、産業能率大と連携し研修を実施。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的なHP更新は一定の成果を上げた反面、人工芝校庭や教育課程の改訂に伴う更新に時間を要した。管理会社に頼らず、迅速に更新できる改善を検討中である。</li> <li>生徒の欠席連絡を電話のほか、メールで行う方法を導入したが、定着のため周知が必要である。</li> </ul>
		企画委員会を中心とした効率的な学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな取組実施に対する改善点等の検討。</li> <li>分掌横断的、将来構想的な協議の積極的な推進。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の変化や地域ニーズを的確に把握し、具体的に対応する方策の検討、実施。</li> <li>組織をスリム化し、業務の効率化・可視化の具体的な方法を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画委員会とPTA役員が連携し、行事における安全策を強化した。</li> <li>行事検討・分掌検討委を企画委員会へ統合し、組織改編を進めた。</li> <li>個々の行事計画や年間行事計画を見直し、効率化・可視化を進めた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育環境や職員構成の変化に伴い、更なる業務の可視化・効率化を強力に進めていく必要がある。</li> <li>行事精選、校務のスリム化を検討し、教育活動の効率化を進めた。</li> </ul>

学校関係者評価	実施日 平成30年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜の公開授業は、中学生が本校の教育内容を理解する貴重な機会である。中学校でも土曜授業を実施しているため、連絡を取り合い、日程を調整し、多くの生徒が高校の土曜授業を見学できるようにして欲しい。</li> <li>授業改善については、進学を希望する大学のアドミッションポリシーを理解したうえで、大学側が望む学力を確実に育成できるように授業を見直して欲しい。また、問題解決能力を育成する視点も大切にして欲しい。</li> <li>英語検定の合格率については、評価できる。今後も引き続き指導をお願いしたい。</li> <li>学習課題については、教科間で量や内容を整理し、学校行事に参加しやすくなるように配慮して欲しい。</li> <li>小学生に対する部活動教室を数多く実施していることについては、大いに評価できる。今後は中高連携の事業の充実を図っていききたい。</li> <li>「赤ちゃん教室」は区としても実施を目指している。先例として参考になった。</li> <li>グラウンド地域連携事業については、区としても、市教委と連携しながら具体的な話を進めていきたい。</li> <li>保護者宛の年次通信などの配信や、トピックスの随時更新で、学校の様子が保護者によく伝わっている。今後も家庭との連携に向け、メールやHPを有効活用して欲しい。</li> <li>学校敷地内に防犯カメラを設置するなど、今後も地域と連携した防犯活動を継続していききたい。</li> <li>企画委員会を中心とした学校運営で協力できることがあれば今後もPTAでサポートしていききたい。特に、行事における安全策の強化については、次年度以降も継続していききたい。</li> </ul>